

校訓 日新

学校教育目標

- ・美しい心
- ・輝く知性
- ・たくましい体

# 日新

学校だより9月号  
令和2年9月10日  
都留第二中学校  
文責：鬘櫛利和

1学期には、感染拡大防止による長い臨時休業があり、授業の遅れが大変心配されていましたが、6月の学校再開後、特別活動や総合の時間を教科の授業に振り替えたり、夏休みを短縮したりするなどの対策を講じたことで、5教科(国・社・数・英・理)をはじめ、ほとんどの教科で遅れを取り戻すことができました。

2学期も、全校で「新しい生活様式」を徹底しながら、通常の授業や部活動を行うことができています。また、2学期予定の各種行事については、感染対策を最優先とし、取組や内容を縮小するなどの対策をとりながら実施していきたいと考えています。



9/1 1年 社会の授業



2年 社会の授業



3年 理科の授業

## 第53回学園祭「新しいかたちの石花海祭」を開催しました！

今年で53回目になる石花海祭は、例年とは違い、時間や内容を縮小した「新しいかたちの石花海祭」を開催しました。保護者の皆様には、「新しいかたちの石花海祭」を開催するにあたり、いろいろとご心配をおかけしましたが、ご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。

「新しいかたちの石花海祭」について、生徒会を中心に「どんな石花海祭にしたらいいのか。何ができるのか。」を、みんなで知恵を出し合って話し合ってきました。特に、三密を避けながら、クラスみんなで積み上げられるような学年種目をどうするかについては、どの学年も非常に頭を悩ませていました。学年ごと話し合った結果、1～3学年とも本校の伝統的な競技「長縄」を改良した新しい競技を、学年種目に決定しました。学年種目が一致したのは、「偶然ではなく、きっと全校生徒の気持ちがひとつになっていたからだ」と思っています。



放送部門の話し合い



全校制作部門の活動



体育競技部門の話し合い

今年の石花海祭テーマは、「績(つむぐ)」です。「績」は今年の生徒会スローガンであり、「全校生徒が、自分たちで考え行動し、一つ一つ積み重ねて、成果として結果に結び



つける」という意味があります。自分たちの手で創り上げる石花海祭には、ぴったりのテーマだと思います。

この石花海祭テーマ「績」の下、8月26日に放送による石花海祭の決起集会を行いました。例年、決起集会は全校生徒が体育館に集まり、生徒会が前に立って行っていました。今年度は感染防止のため、放送による決起集会を行いました。生徒会長の長田大空さんの石花海祭に対する熱い想いが、全校に響き渡りました。



決起集会で放送する生徒会長

この決起集会のおかげで、全校生徒の志気が高まり、8月31日～9月4日の取組期間には、短期間でしたが、生徒一人一人の自発的な活動がたくさん見られました。



1年 全校制作の作業



2年 全員リレーの話し合い



3年 長縄の練習

当日は、とても天気がよく快晴になりました。開祭式では、生徒会執行部による開祭宣言、全校制作（モザイクアート）披露、吹奏楽部演奏がありました。

全校制作は、生徒一人一人が1cm四方のチップを90枚はり合わせる作業をした後、それを全校生徒分集めて、全校制作部門でつなぎ合わせ、「校庭から見た風景画」を完成させました。全校が心をひとつにして、素晴らしい作品を創り上げました。



全校制作披露

吹奏楽部は、「ピースサイン」など3曲を演奏した後、アンコールの声援に応じて「ようこそジャパリパーク」を演奏しました。校庭での演奏は大変だったと思いますが、これまでの苦労が実った素晴らしい演奏でした。途中、楽しい振り付けダンスもあり、石花海祭を盛り上げてくれました。



吹奏楽部の演奏

体育競技は、感染対策に重点をおき、学年種目（1年「赤エビFRY」2年「グルグルぴょんぴょん」3年「君の縄」）では、クラスを3グループに分けて、人と人との距離を離して競技しました。全校種目（「コロナ対策リレー」）では、軍手をしてバントをつなぎました。放送部門の軽快なアナウンスが心地よく響き渡り、競技を盛り上げていました。



1年 コロナ対策リレー



2年 グルグルぴょんぴょん



3年 コロナ対策リレー

コロナ渦の中で、53回目のバントをつなぐことができたのは、生徒たちが最後まで諦めず、常に前を向いて頑張ってきたからだと思います。今回の石花海祭を通して、生徒たちから「コロナには絶対に負けないぞ」という強さと、「前を向いて進んでいこう」というたくましさを感じました。今年の「新しいかたちの石花海祭」は、大成功でした。